

# 長津田の こぼれとも 見てね!



## 1 随流院 長津田五丁目

本尊は観世音菩薩で、長津田の宿は、昔からこの観音を中心に行事が行われ皆に親しまれてきました。この観音は火ぶせ観音とも言われています。



## 2 福泉寺 長津田町(中村)

黄葉師の二十三番の礼所で薬師如来を本尊としています。薬師如来をまつる寺が集まって、寅年ごとに開帳することから黄葉師と言われています。



## 3 伯楽の山桜 長津田町(中村)

伯楽の谷戸にある、樹齢約350年の山桜は、花の頃には遠方からも見物に人が訪れる隠れた名所であり、横浜市の名木古木にも指定されています。



ここでいう伯楽とは、馬の医者のことです。

## 4 虚空蔵様 (紅(江)林塾) 長津田町(岡部谷戸)

正しい名は種月山耕雲庵と言ひ、この堂内には安政四年(1857年)十月から十三年間紅(江)林塾が置かれ関根範十郎師が子供の教育にあたり、後の長津田小学校となる基礎をつくった所です。



## 5 第六天社、正一位稲荷 長津田町(岡部谷戸)

小高い丘の上であり、まったく同形の小さな祠(ほこら)の向かって左が第六天社、右が正一位稲荷です。第六天とは、仏教の欲界には六種の天(神)があり、その最上位、すなわち第六位にいる地化(たけ)自在の別名です。



## 6 椿稲荷 長津田町(台)

ご神体をおさめている箱の外側に椿の葉をならべて包んでいます。いつ頃からこうしたのか、またその理由も定かではありません。創建はかなり古いようです。



## 7 御嶽社跡 長津田みなみ台三丁目

以前この社には木曾御嶽(おんたけ)の山神を祭った祠(ほこら)がありましたが、現在では、天王社境内にあります。この御嶽講石祠は、霊山信仰の講として山神を祭っていました。(囲み写真:このニッキの木のそばに祠がありました。)



## 8 六十六部回国供養塔 いぶき野

むかし、日本六十六か国の霊場を巡拝し、一國に一か所、書き移した法華経を奉納して回国する行者があり、これを六十六部(六部)と言っていました。六部が願いをかなえて帰国したとき記念碑を建てており、これを六十六部回国供養塔と言っています。

長津田地方でも何人かの人々が六部として日本国中を回っていました。



## 9 下長津田神社 いぶき野

下長津田では昭和四十四年から土地区画整理事業が行なわれ、その区画内にあった八坂、諏訪、金刀比羅、稲荷の四社を一か所にしました。名も下長津田神社と改め、昭和四十七年八月に遷宮祭を行ないました。



## 10 二十三夜塔 長津田町/長津田一丁目

旧暦十月二十三日の夜、人々が集まり月の出を待って拝み、供え物をした二十三夜待という行事がありました。いわゆる月待で延命長寿と家内繁栄を祈ったものと言われています。



歴史に関する記述は諸説ある中の一つです。

### 長津田の歴史探訪

**長津田に伝わる伝説**  
**<大石の伝説>**  
 大石神社のご神体の石にはいくつかの伝説があります。平安朝の歌人、在原業平朝臣(ありわらなりひら)が東国に下る途中、恋人を連れて武相の国境近くの山中にさしかかったとき、追手により四方から火をつけられ、付近一帯は焼野と化しました。しかし、二人は逃げた様子もなく発見されず、ただ大きな石が一つあったのみでありました。おそらく二人は石と化したものであろうということがあります。  
 また、伝説は更に伝説を生み、瀬谷の武相国境にあったとされる石が長津田のものとなったため、下長津田まで持って行こうとしたところ、大石山の下まで来るとどうしても動かなくなったため、この山頂に祭ったともいわれています。

**<伝説八百屋お七のたたり>**  
 お七が火あぶりになったのが天和三年(1683年)三月と言われこの事件を直接担当したのが盗賊追捕役の中山勘解由ということになってい

**紀行文(江戸後期)**  
**游相日記(ゆうそうにっき)**  
 江戸時代の学者で南画家の渡辺華山は天保二年(1831年)に、江戸から大山街道を厚木まで歩き、藤沢を通って浦賀まで旅をしました。その旅のつれづれに書き留められたものが、「游相日記」であり、日記の中には長津田についても書かれています。  
 長津田に到着した華山は、兎来(とらい)なる人物を訪ねました。兎来とは俳句の号であり、通称は萬屋(よろずや)藤七といひます。華山はここで弟子の梧庵と、やはり俳句をたしなむ農夫松五郎(号は琴松)と四人で句を読み、書画を残しています。

### 年間行事

1月1日 初詣(大林寺、大石神社、王子神社、福泉寺)	6月最終日曜日 王子神社大祓(茅の輪くぐり)
1月13日 虚空蔵様祭礼	7月14日 天王社祭礼
1月14日 ドンド焼	8月1日 大林寺施食会
2月3日 王子神社節分祭	8月下旬 下長津田神社祭礼
3月下旬 福泉寺護摩	10月第二日曜日 大石神社例大祭
4月上旬 高尾飯縄神社祭礼	11月 七五三(大石神社、王子神社)
4月8日 大林寺花まつり	12月31日 除夜の鐘(大林寺)
4月29日 王子神社例大祭	

わたしたちがこの地図を作りました!

### 長津田宿の歴史を活かしたまちづくり研究会

長津田の各地域の代表者をメンバーとして、平成15年9月に発足しました。  
 これまで「長津田十景」選定や見どころ紹介マップ作成などを行ってきました。今後も、長津田に多く残る歴史的資産をまちづくりに活かすために活動していきます。

### 長津田歴史探訪マップ

平成17年3月発行  
 平成19年3月一部改訂  
 平成22年8月一部改訂

発行 長津田宿の歴史を活かしたまちづくり研究会  
 横浜市緑区役所区政推進課企画調整係  
 〒226-0013 横浜市緑区寺山町118番地  
 TEL045(930)2228 FAX045(930)2209  
 参考文献 田奈の郷土誌(同編集委員会)  
 長津田の歴史を訪ねて(林房幸 著)  
 激変の庶民生活史(長津田を語る会)  
 緑区史(同刊行委員会)

お気づきの点がありましたらご連絡ください。  
 横浜市広報印刷物登録 第160845号  
 類別・分類 E-QA120

# 皆でつくる魅力あるまち 長津田 歴史探訪マップ



長津田って  
どんなまち?  
 長津田は旧大山街道が通り、長津田宿があったところ。

このマップでは  
そんな歴史跡を  
紹介しています。  
さあ、元気よくマップ  
片手に歴史探しの  
旅に出かけよう。